



下剋上!! 岐阜大学起業部の躍進!!

経済産業省が2021年度に実施した「大学発ベンチャー実態等調査」によると、大学発ベンチャー数は2020年度調査時に比べ401社増加し（うち新規設立は200社）、合計3,306社となっています。大学別にみると、1位は東京大学で329社、2位は京都大

学で242社となっています。このような中、順位を一気に上げたのが岐阜大学です。2020年度は30位でしたが、2021年度は15位（57社）に浮上しました。

今回は、2020年に設立し、活躍が期待される岐阜大学起業部の活動を紹介します。

COMMENT



起業部部长 あおい
小和田 仰生さん

岐阜大学工学部社会基盤工学科2年

岐阜大学起業部で部長を務めている小和田仰生です。現在、岐阜大学工学部社会基盤工学科2年で、起業部には2021年から在籍しています。岐阜大学起業部に入ったきっかけはとくにありません（笑）。なんとなく起業というワードに惹かれ、自分の通う大学に起業部があるという情報を聞いて、一度体験入部してみようとしたところから起業部に関わるようになりました。1年間、起業部として活動をして、今年の4月から起業部の部長になりました。私たちは「起業」というワードから全員起業をする団体のように思われがちですが、そのようなことはなく、一人ひとりが自分のやりたい事を見つけて取り組んでいる自由な団体です。岐阜大学起業部は、今後も東海地域の学生アントレプレナー（起業家）の先陣を切っていく存在として、走り続けていきたいと思っています。



起業部顧問
上原 雅行さん

岐阜大学学術研究・産学官連携推進本部 副部門長・
高等研究院 准教授

2020年4月に、有志の学生と教員が中心となり、岐阜大学公認の「起業部」を設立しました（中部地域初の起業部）。

主に地域・社会課題解決のための事業創出を担う起業家精神（アントレプレナーシップ）を持つ人材の育成・輩出および地域社会の活性化を目的とし、部員の経験・知識を共有し、刺激し合うことで成長を促すコミュニティとしての役割を担っています。

起業やマーケティングなどに関する勉強会を行うほか、地域の起業家・経営者の皆様とも交流することで、部員の視野拡大やビジネスへの意識・意欲を高めています。

地域の皆様と連携しながら、主体的な学生のアクションをサポート・後押しし、新しいビジネスの創出および地域経済の活性化に寄与したいと考えています。

岐阜大学起業部の紹介

部員数 32名(2022年10月末時点)

活動内容

岐阜大学起業部の活動は特徴として、とても自由なところがあります。これは岐阜大学起業部というのはあくまでもコミュニティであるということが関係しています。そのため、部員の皆さんには、まずは自分の活動を優先してもらっています。自分の活動で得た経験を部員と共有して、お互いに成長していくことを目的として活動しています。

また、部員のアントレプレナーシップ形成やビジネスに関する勉強、ピッチコンテスト*出場者に対するブラッシュアップ会など、起業部としても部員が成長できるよう様々な企画を考えて活動しています。

実績

NOBUNAGA21 ファーストステージ優秀賞(2021、2022)、キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)中部大会優勝(2020、2021)、Tongaliアイデアピッチコンテスト2021 Tongali賞(1位)、Tongaliビジネスプランコンテスト2022最優秀賞(1位)etc…

*会場出席者にアイデアやビジネスプランをプレゼンテーションするイベント



集合写真



活動の様子①



活動の様子②(NOBUNAGAビレッジにて)

活躍中の部員紹介



FiberCraze株式会社 代表取締役社長
岐阜大学自然科学技術研究科 物質・ものづくり工学専攻2年

長曾我部 竣也さん | 起業部初代部長

岐阜大学で生まれたコア技術を軸に、無数の小さな“あな”が空いたフィルム・繊維素材を扱っています。防虫・抗菌・保湿など、様々な機能を付与させた機能性素材を開発しています。

“秘められた技術の新たな価値を見出し、社会に繋げることで未知なる可能性を発揮する”という思いのもと大学院在学中の2021年、23歳で起業しました。

「あなを通してつくるミライを覗く」というビジョンのもと、生活や産業の発展を担うインフラとなる素材の確立を目指しています。